

セレブリティ・ソルスティス 緑の芝生を楽しむ、より“グリーンな”船に  
“Turf’s Up!” The Grass Really Is Greener on Celebrity Solstice

マイアミ（2008年1月18日）— セレブリティ・クルーズに新しい職種が生まれます。それはなんと庭師。世界を旅する最新鋭オーシャン・ライナーで働く庭師には、陸地から何マイルも離れた海の上で植物を育てる情熱的な園芸家が求められています。

今年の12月に就航するセレブリティ・ソルスティスに乗船したお客様は、みずみずしい草花に気づくでしょう。クルーズ客船では初めて、デッキ最上階に本物の、生長する芝生を植え、「ローン・クラブ」という名のカントリー・ゴルフ・クラブを設けます。

半エーカー（約2000㎡）もの広さのローン・クラブではパッチ・ボールやクロケットなどのゲームをしたり、パッティングの練習や、ワインとチーズを持ちこんでのピクニックを楽しんだり、またはただ足の裏に芝生の感触を楽しむだけでもいいのです。

さらにこの場所では、コーニング・グラス・ミュージアムとのコラボレーションで、こちらもクルーズシップ初の「ホット・グラス・ショー」が行われ、「パティオ・オン・ザ・ローン」、「ローン・クラブ・ショップ」、「サンセット・バー」が設けられます。

「当社のお客様には、洋上でみずみずしい芝生の上でゴルフ・パットを振るなどという、思いもよらないような楽しい体験をしていただきたいのです。芝生を使って楽しんでいただくことは、私たちが目指すセレブリティのスタイル、お客様の要望に答え、満足していただくことを体現しているのです。」とセレブリティ・クルーズの社長兼CEO、ダン・ハンラハン氏は言います。

セレブリティ・クルーズの会長、リチャード・D・フェイン氏は「セレブリティ・クルーズは“本物”を志向しています。すべてに本物を、というビジョンをまっとうすべく本物の芝生を敷いたのは革新的であると考えています。」と語りました。

しかしこれは簡単なことではありませんでした。このエリアのデザインはウィルソン・バトラー・アーキテックス社に依頼しました。「景観と建築」チームとフロリダ大学の芝生と土の研究者たちが協力して、どんな種類の芝生と土が、船上の風、日光と日陰、気温などに耐えるのか、様々な調査と実験を重ねました。踏みつけられてどれだけ耐久性があるかということや、毎日の手入れや水遣りなどはもちろんのこと、芝生が吸収する雨水の量や、水を含んだ土がどれほどの重さになるかということまで計算してあるのです。

#### ローン・クラブの広さ

- 2,130㎡（半エーカー／約630坪）
- ニューヨーク・ロックフェラーセンターのスケートリンク（668㎡）の約3倍
- オリンピック・サイズのプール（1,250㎡）の約1.7倍
- テニスコート（260㎡）約8.2枚分
- 英国ウィンブルドンのローン&テニスクラブのセンターコート（902㎡）の約2.4倍
- サッカー場（6,500㎡）の約1/3

ローン・クラブはソルスティスの最上階デッキの中心的エリアです。「パティオ・オン・ザ・ローン」はエレガントな中にもリラックスした雰囲気のため、くつろいで座れるテラスです。新聞や小説を読むひとときや友人とのくつろいだコーヒータイムなどにご利用いただけます。

コーニング・グラス・ミュージアムとのコラボレーションで行われる「ホット・グラス・ショー」はパティオのメインイベントです。グラス吹き専用の工房には、古代の起源から現在の色とりどりのグラスにいたるまで吹きガラスの歴史が展示されています。3人の“親方”たちがガラスの工芸品づくりのショーを行い、講演やワークショップ開き、お客様の質問に答えてくれます。

また、このエリアには「サンセット・バー」も設けられています。出港風景を眺めるには最高の場所ですが、ソルスティスでは、本物の芝生の上でそれが叶うのです。船上でいちばん高いところにあるこのバーで、リラックスした雰囲気でも飲みものを楽しみながら、息をのむ美しい風景を見ることができます。

「ローンクラブでは必ずやわくわくする楽しみを見つけていただけるものと思います。」とハンラハン氏は語りました。